



# 3千776万8千円 を補正

## 町議会第四回定例会

災害復旧費と給与改正にともなう人件費の補正を主議題とした、長浜町議会才四回定例会が、去る十二月二十五日招集され、二十二議案が原案の通り可決決定しました。議決した主なものは次のとおりです。

- 一、昭和四十二年度一般および特別会計の決算認定
- 一、町長、助役、収入役の給与条例の一部改正

### 町長行政報告

町長は、十二月定例会において全議会から今回のご多忙なご行政上の諸問題について、次のよう行政報告を行ないました。

### 災害復旧について

議会および町民各位の努力で、会計方面の絶大なご指導と力添えで、現在、農林災害、建設省災害の査定も、予定通り終了するとともに、農林災害においては、一部分既に工事発注を完了しており、

一、長浜町犬取締保護条例を定めることについて  
犬が人畜その他に危害を加えることを防止するため、野犬等の捕とうに関する規定ほかこの条例が定められました。  
一、昭和四十三年度一般会計補正予算  
給与条例改正による人件費の追加、災害復旧費の補正、それに、櫛生診療所開設にともなう経費の計上などを主に、その他、いろいろの状況変化に対応する追加更正組み替えなどの処置をほどこしたもので、今回、三五、六二三千円

43年災害復旧事業総括表 単位千円

区分	工種	査定額		43年度施行予定	
		個所数	工事費	個所数	工事費
公共土木	河川	52	126.120	11	13.863
	道路	21	13.805	8	6.067
	橋梁	5	11.461	3	376
	計	78	151.386	22	20.306
農地及び農業施設	農道	92	39.793	39	17.487
	橋梁	15	10.752	4	799
	水路	53	22.962	6	2.429
	頭首工	35	20.841	-	-
	農地保全	3	6.450	2	5.060
	農地復旧	77	27.034	14	3.447
	計	275	127.832	65	29.222
林道	林道	9	3.140	6	2.167
	漁港	6	3.907	1	314
治山	堤防ほか	4	1.551	4	1.551
	単	4	1.551	4	1.551
合計		372	287.816	98	53.560

が補正され、一般会計の予算総額は、四五五、九七四千円になりました。  
一、昭和四十三年度各特別会計の補正予算

### フェリーボートについて

時期的に遅れてはいましたが、長浜と室津間を結ぶフェリーボートの事業認可も、ようやく決定の見通しになったので、みなさまともにもよるごびあいたい。

### 接岸施設

すでに、本年度分は工事発注も終つて、現在着々とその施設にとりこんでいる状況です。可動橋、運論省と大蔵省との予算の問題等があつて、四十四年度には、採択される見通しになつ

発行所 愛媛県喜多郡 長浜町役場  
印刷所 岸本印刷所

12月末住民登録人口

11月末人口	15,286	世帯数	3,954	
12月異動	転入(+)	43	転出(-)	43
出生	(+)	7	死亡	(-)
12月末人口	15,271	世帯数	3,957	

ありがとうございました。  
今坊の矢間氏は香典返しのために現金三万円を、また、同じく、長浜の久保田好秋氏は現金四万円を、長浜町社会福祉協議会に寄附されました。

### 造船関係

「長浜上ノ関高速フェリーKK」の仕事ですが、町の開発課は、これらについて全面的に応援をしており、既に会社は昨年五月十一日に発足しフェリーボートも、一億五千万円で、約五百トンのもので、下関の旭洋造船KKに発注済みで、間もなくこれらの着工にかかつてゆく見通しです。

### 海の玄関に

フェリー接岸地帯を整理し、長浜町の海の玄関を整備してゆきたいという計画にもつき、町の開発課において、そこにビルを建設する計画を進めていた訳ですが、かねて、町の商工会あたりから要望があり、商工会館に兼ねて海運センター、その他総合的な港湾周辺整備施設を一ヶ所へまとめ、長浜町の表玄関の面目を一新してゆく計画です。

### 旧港務所周辺の整備事業について

規模は、三階建ての鉄筋コンクリートで、待合室、観光案内所、港務所、食堂、そのほか、二階三階には、会議室や事務室なども設備してゆく考えです。

事業経過については、現在、県を通して年金事業の方へ要請をしており、去る十二月五日、開発課長が東京へヒアリングに行くなどして、きわめて明るい見通しになつていきますので、年内(43年)には、これらの内示があると思われまますが、年明け(44年)早々着工して、フェリー就航までには完全にこれを仕上げてゆく計画がままとつています。

# 一般質問

## 町長 みかん対策 など答弁

小川議員

【質問】 ①播生し大洲線の豊茂を経た林間の県道は、四十四年度の県の新規の事業として着工してゆける可能性はあるか。

【答弁】 いつの年も予算をとつているが、用地の解決がつかないため、予算執行ができず、毎年返上してきており、今年度についても土木事務所から、早く結論を出すべく促がきている。しかし、この

からいろいろな折衝をつづけて来た結果、やや見込みが立つたのではないかと考えられるので、今年度は、この予算が執行できるよう努力を払いたい。(町長)

【質問】 ②教育委員会制度は現行のままであつても、これを組合立で広域的に運用することを文部省は公表したと聞くが、どういふ通達が来ているのか。また、それが可能な場合、現在のような教育委員会制度は、形でこそ民主的だが、本質的には民主的でない現実に至つていない。

このため喜多郡・大洲市を含めた委員会で扱つてゆく方が委員会の活動からみても、教員の異動を円滑にすることに於いても本来の教育委員会の効果が上がるのでないか。

【答弁】 文部省の通達の内容は、実態にふまえて止むを得ないものについて、極度に小規模な、あるいは、極度に問題点をもつている所については、一部助成をするという方針です。(教育長)

教育委員会の財政は町長事務局がもつていたので全般的に、はたして現在以上の効果が期待できるかは多分に疑問がある。従つて、今進んでそのようにやつてゆくことには問題があると思う。それよりも、ご指摘されるような障害があるのでするならば、教育の問題だけでなく、他の民主行政、あるいは、建設行政においても、あらゆる面に、このような問題が大なり小なり出ている訳だから、こゝろで抜本的に広域行政ということをお互いが研究をしてゆく時期に、

到達したのではないかと考える。(町長)

【質問】 ③今年のみかんの値下り対策として、県は貯蔵設備の方針をもつていますが、これに対して、町は、どのような対策を考えているか。また、もし石油コンビナート誘致の実現の上において、これによる、みかんに対する公害を受ける農家がでた場合の対策はどうか。

【答弁】 貯蔵庫も必要だと思つたが泥縄式なことを考えるより、むしろ長期的な視野に立つて、下落してゆくみかん生産に対する根本的なものにメスを入れてゆくことが大切ではないか、そのためには、労働力の合理化や共同作業等による生産費の軽減、あるいは、適正な規模の農家育成をしてゆかなければならない。このような問題は、国・県はもちろん、町、農協等の総合的な指導が確立されなければ、強力に進めることはできない。だから、みかんとはたくさん作るというよりも、むしろ、どのような生産費を軽減して、よりうまくみかんを作るかに集点をしほつて考えるべきではないか、また、県も国も、そういう方向に考えてくれなければ解決がつかぬ問題だと思ふ。少くとも長浜町においては、こういうことを目標として取りこんでゆきたい。またこのほかに流通機構の問題があり、小売価格は変わらないが、生産者価格は去年の半分というような流通機構そのものに問題がある。これは単なる町や県単独の力だけではどうにもならない、日連園、農協連、あるいは、みかん生産者がこぞつて流通改革にとりこんでゆかなければ近き将来に、みかん恐慌が訪れる心配がなきにしもあらずといえる。このような意味から誤らない方向に努力を払つていきたい。(町長)

坂田議員

【質問】 ①長浜町の現状と将来についてのビジョンを打ち立て、町民各位に理解を深めていただくようなものを作り、全町一体となつて長浜町の将来の発展に對しての協力ができるような態勢づくりを行なうべきではないか。

【答弁】 長浜町に住んでおられるみなさん方誰もが、豊かでくらしよくなることを念願してない方は一人もいないと思う。問題はそれを実現してゆく方法であるが、たとえばいくらうまくみかんを作つて出しても、ますますソロバンが合わないような時代が来たとするならば、その時に思い当つたのでは遅いのではないか。このようにただその時その一つを捕えて簡単にそこを結論づけるのではなく、地域の開発というものは総合的にいろいろな事を考えて、例えば、みかん生産者の問題、沿岸の漁業の問題、また、年々減少をたどる人口の流失問題についてはどうなつてゆくのかなど、全般的に分折と検討を加えて、長期的なビジョンのもとに町の開発をやつてゆかなければならない。

また、公害問題なども大変重要だが、仮りにそのことを私たちが余りにも恐れるばかりに、一番大切なチャンスやタイミングを失くした場合には、それに代るべきものをつかみ得るといふことは、決して容易ではないといふことを、ご承知頂きたい。そしてもし、公害が出るとするならば、その公害をどのように防ぐかを、もう一つ意欲的に真剣にとりこんでいく姿勢がなければ、町政をあづかつて責任をまかつたことはできない。そこでその方法、手段というものを私たちがどのように情熱を傾けて計画あるいは立案、実施してゆくかということが大切であると思う。(町長)

【質問】 ②須沢→豊茂道路の改良についてどのような計画をもつているか。

【答弁】 本年度は余裕がないが、四十四年度以降、地元民の意志を尊重して真剣に検討してゆきたい。(町長)

【質問】 ③中学統合などから考えて子どもたちが、自から交通安全から守るための交通ルールを身につけさせるため、どのような教育をしているか、また、今後どのような計画があるか。

【答弁】 実質統合した四月から交通部をつくり、安全通学について具体的にまた強力にとりくませている。しかし、一般および小学校

高校などの協力なくしては徹底できないので、十一月から小・中・高の学校、警察、交安協会、町、教育委員会の七者で連絡会を例月開いて、その月々の具体的な目標を設定し、それを二十日のゼロの日の約一週間前の会で意識の統一をはかつて各種の安全教育、安全運動を推進することとしている。(教育長)

【質問】 同和教育問題について、約二年前の教育長の答弁が今だに実効を見せず積極的に取りくめない理由はどこにあるか。なお今後この問題にどのような計画をもつているか。問題解決のために施設なり組織づくりを進めてこの問題を早急に解決する考えはないか。

【答弁】 基本的には、これは微妙な問題であるから、推進展開のことについては慎重に考えてゆきたいと答えたのは現在も同じ考えであらう。また、この問題については、一律に同和教育、同和对策というふうな進め方ではないか、真向上段にかぶつて進められる所もあるし、また、地域によつては道徳教育などから、進めてゆく方が効果的だといふ所もある。なので画一的に考えるべきでないのではないか。

各公民館主事にも指示をしており、各地域地域で実態に即した教育を進めるよう検討を指示している。また、全町で組織をつくつてやつてゆくのが良いか否かについては、まだ結論を出せないが、今後とも助言をいただき、この問題にとりこんでゆきたい。

交通安全 正しい運転  
ニコニコ横断

